年間テーマ
「主の恵みに生かされて歩む教会」

No,435

ペンテコステ

2025年12月1日
（毎月1回1日発行）
カトリック谷山教会
〒891-0113
鹿児島市東谷山 2-33-13
TEL・099-268-2084
FAx・099-284-5738

E-Mail:taniyama-cc@Lagoonne.jp URL.https：//catholic-tc.jp
発行人 盛 克志神父　編集委員：上原敏子、上釜照美、徳永珠美

インマヌエルの恵み

カトリック谷山教会　主任司祭　盛　克志

今年も主イエス・キリストの降誕の季節が巡ってきました。今、私たちが過ごしているこの待降節、御子キリストの降誕の心備えをする時です。

この季節になると私は、ある神学者の言葉を思い起こします。「再び時が巡って、クリスマスの季節が訪れると、私たちみんなの心に、多少とも明瞭に、鮮明に、次の問いが浮かびます。『あなたがたのために、きょう救い主が生まれた！』(ルカ2:11)という知らせを聞いていますか？」。

今年も新しい心で福音書が告げる降誕物語に触れ、御子キリストとの絆を強めたいと心から願います。

今年も思い起こせば日々の生活の中でいろいろな出来事があったことでしょう。けれども、そういう現実の生活の中にあって、「毎年、訪れるクリスマス」とはいったいどんな日でしょうか。

それは、神の御独り子　イエス・キリストが光としてこの世に来て下さったことを覚え、このキリストを私たちの心の中に迎える時なのです。

イエス・キリストの誕生、それは預言者イザヤにおいて預言されたインマヌエル、「神、我らと共にいます。」の実現であったと聖書は告げています。

「見よ、おとめが身ごもって、男の子を産み　その名をインマヌエルと呼ぶ。」　（イザヤ書7章14節）

私たちは、クリスマスの時にだけ、クリスマスの喜びの中を歩んでいるのではありません。何故なら、クリスマスの喜びは、インマヌエル、「神、我らと共にいます」の喜びに他ならないからです。神様はクリスマスの時にだけ私共と共におられるわけではないからです。クリスマスにおいて出来事となったインマヌエルの恵みは、いつでもどこででも私共をとらえて離さないからであります。

アンゲルス・シレジウス（ドイツ・バロック時代を代表する神秘主義的宗教詩人）は、次の言葉を残しています。「キリストが千度ベツレヘムにお生まれになっても、あなたの心の中にお生まれにならなかったら、あなたの魂は捨てられたままです。」(『シレジウス瞑想詩集』第1章61)

クリスマスとは、キリストがあなたの心の中にお生まれになった日のことであります。良き準備のうちに待降節を過ごし、新たな思いで主の降誕を今年も迎えましょう！

「いと高きところには栄光、神にあれ、地には平和、御心に適う人にあれ。」

12月の教会暦より

Merry Christmas

小牟田シスターの手作りリース

3日　聖フランシスコ・ザビエル司祭　祝日
1506年～1552年

ザビエルは、スペイン、ナバラ地方の貴族の家に生まれた。1526年からパリ大学で学び、そこでイグナチオ・デ・ロヨラと知りあった。イグナチオの考え方に影響を受けフランシスコは、名誉も財産も捨て、キリストに従う生き方をしようとイグナチオの仲間となった。1534年にパリのモンマルトルで誓いを立て、宣教に身をささげるイエズス会を創立した。3年後に司祭となったフランシスコは、イタリアで活躍し、その後1541年にはポルトガル王の要請を受けて、イグナチオからインドに派遣された。

インドでは、気候・風土・習慣などの困難にあいながらも、宣教に尽くし多くの人びとに洗礼を授けた。その後マレーシア、インドネシア、フィリピンなどの島々を巡り宣教した。マラッカで日本人のやじろうと出会い、彼を信仰に導き、1549年、彼とともに日本の鹿児島に渡った。

平戸、博多、山口を通って、天皇から宣教の許可を得るために京都に向かったが、会うことができずに山口に戻った。そこで大名の大内義隆より宣教の許可を得、熱心に活動した。その後、日本が中国の仏教の影響を受けていることを知ったフランシスコは、まず中国に渡ることを決意し、1551年に日本を離れインドに戻った。中国に入ろうと努力するが、広東港外の上川島で病気になり、亡くなった。フランシスコの遺体はゴアに移された。（聖パウロ女子修道会）

8日　無原罪の聖母マリア　祭日

大天使ガブリエルが告げた言葉にもあるように、聖マリアは神の恵みに満ちのた方である。また、女性としても、人間としても優しさ、慈悲深さ、忍耐などをそなえた方である。 無原罪の聖母マリアに対する崇敬は、昔からあった。ピオ9世は、1854年12月8日に「聖マリアの無原罪の宿り」を信仰箇条とした。「人類の救い主キリスト・イエスの功績を考慮して、処女マリアは、全能の神の特別な恩恵と特典によって、その懐胎の最初の瞬間において、原罪のすべての汚れから前もって保護されていた」と荘厳に宣言したのである。

1858年3月25日には、フランスのルルドで少女ベルナデッタに聖マリアが現われ「わたしは原罪がなくて宿ったものである」と言われた。（聖パウロ女子修道会）

谷山教会
聖アルフォンソ合唱団

クリスマス・コンサート 2025

鹿児島 カトリック谷山教会聖堂
2025年12月21日（日）14時開演（約1時間）
入場無料
駐車場が狭いので、できるだけ公共交通機関でおいで下さい。
なお、ひまわり幼稚園の駐車場もご利用いただけます

今回のクリスマスコンサートは、16世紀の教会音楽であるパレストリーナとモンテヴェルディに加え、ブルックナーの合唱曲にも取り組みました。
また、高田三郎の晩年の典礼聖歌と、賛美歌・カトリック聖歌からクリスマスの曲を選んで歌います。谷山教会で心静かなひとときをお過ごしください。

===教会伝統の歌より===
パレストリーナ/Sicut Cervus, モンテヴェルディ/Cantate Domino
ブルックナー/WAB23 Locus iste,WAB33 Pange lingua
===高田三郎の晩年の典礼聖歌より===
神のみわざがこの人に、来なさい重荷を負うもの、母は立つ
===クリスマスの歌（讃美歌とカトリック聖歌より）===
聖歌総合版69番（みつかいこぞりて）、79番（いざみたみよ）
カトリック聖歌543番（Salve Regina）、608番（あめのみつかいの）、653番（まきびと）、654番（もろびとこぞりて）、655番（ああベトレヘムよ）、607番（しずけき　全員合唱）
===ピアノ演奏===
ベートーヴェン/ピアノソナタ第8番 作品13「悲愴」第2楽章

中馬修一（指揮）
ピアノ・オルガン：井手口 希歩
カトリック谷山教会聖アルフォンソ合唱団、有志参加者

連絡先　後藤正道（団長）masagoto1054@gmail.com

シスター、赤いガーベラ綺麗でしたね。ひまわりも有難う！祭壇用に飾りました。

11月23日(日)タペストリーを変え、待降節用の飾りつけを終えました。

当(あたり)会長ご夫妻・作

シスター小牟田・作

この世の中を生きていく間、世のものを愛してはいけないし、世の中のすべての誘惑を振り払わなければならないので、私たちが生きていく日々が修練を受ける期間だという思いが時々、心に思い浮かびます。
それでこの世ではなく、神の国での永遠の生命のために必ず経ていかなければならない今の世の中の生活が大変な時もあります。
しかし、幼子イエス様の誕生によって私たちの救いが完成されましたので、聖霊がとどまっていたシメオンとアンナという女預言者が神様を賛美しました。
信仰生活の目的が現在の心の平安を得るためだけではなく、永遠のいのちに至る道だということが明らかになりました。
救いに向けた神様への固い信仰によって、救い主であるイエス様の誕生を待ち望みながら、世の誘惑をよく勝ち取り、聖なる待降節になることを祈ります。

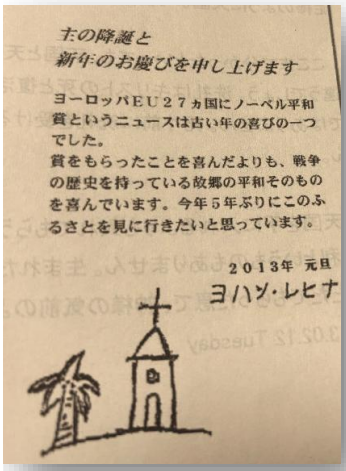
ステファノ神父

噛めば噛むほど

かめばかかむほど味が出るものの一つは年賀状だと思っています。日本に来て、正月に年賀葉書をもらった時、先ずびっくりしたのは、素朴な形でした。生まれた国のクリスマス・NEUJAHR 葉書に比べて色ひとつも付いていませんでした。なんと地味なものだろうと思いました。

そのうち50年近くもたちました。葉書の数が増えておれば、このごろ派手なものも増えています。逆に私は時代遅れの一人で、私の送る年賀状は昔のままです。先日、皆さんに送ったものもそうです。ここにありますから見て読んでください。

よかったら私のことばをよく噛んで味わって下さい。私も皆さんからもらっている言葉を味わって平和を祈りたいと思っています。2012. 12. 31

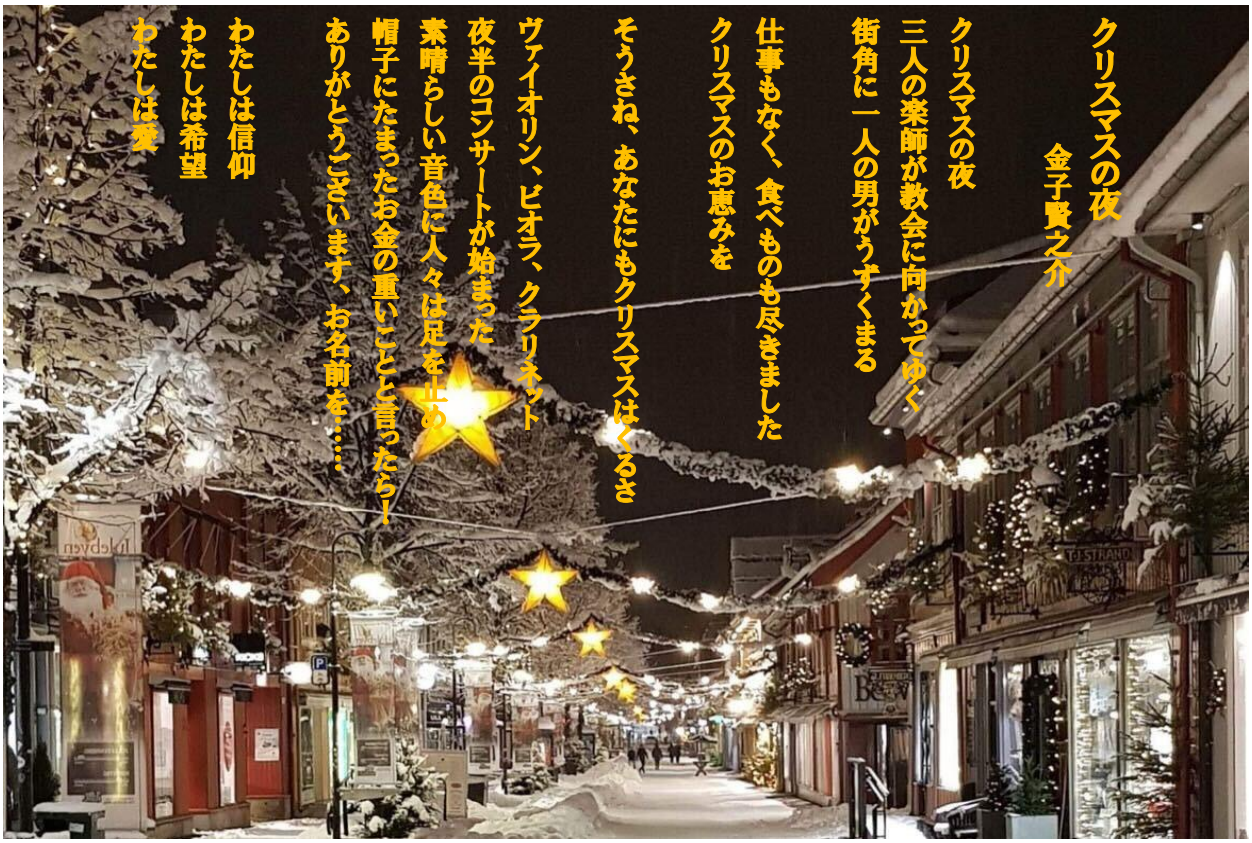


主の降誕と
新年のお慶びを申し上げます

ヨーロッパEU２７ヵ国にノーベル平和賞というニュースは古い年の喜びの一つでした。
賞をもらったことを喜んだよりも、戦争の歴史を持っている故郷の平和そのものを喜んでいます。今年５年ぶりにこのふるさとを見に行きたいと思っています。

2013年 元旦
ヨハン・レヒナ

－ヨハン・レヒナ師　レデンプトール会フォーラム記事より－



金子賢之介神父
一九九一年～九七年まで「カトリック生活」編集長を務め、その後もドン・ボスコ社編集部でさまざまな執筆活動に携わった。二〇二二年二月二十六日帰天

～希望の光クリスマスより～

令和7年(2025年) 谷山教会　12月の予定と祝日表 （12月 1日～12月31日）

日		時	典礼と行事	朗読奉仕者	掃除当番	班会
1日	月	6:30	朝ミサ			
2日	火	6:30	朝ミサ			
3日	水	祝日 19:00	日本宣教の保護者聖フランシスコ･ザビエル司祭 召命ミサ			
4日	木	6:30	朝ミサ			
5日	金	6:30	初金ミサ			
6日	土	19:00	待降節第2主日のミサ		①	教会
7日	日	6:30&9:00	待降節第2主日/ミサ中堅信式(司式中野司教様) ミサ後中野司教様の歓迎会と受堅者のお祝い	①		
8日	月	祭日 6:30	無原罪の聖マリア 朝ミサ			
9日	火	6:30	朝ミサ			
10日	水	19:00	召命ミサ			
11日	木	6:30	朝ミサ			
12日	金	6:30	朝ミサ			
13日	土	記念日 19:00	聖ルチアおとめ殉教者 待降節第3主日のミサ		②･③	教会
14日	日	6:30&9:00	待降節第3主日	②･③		
15日	月	6:30	朝ミサ			
16日	火	6:30	朝ミサ			
17日	水	19:00	召命ミサ			
18日	木	6:30	朝ミサ			
19日	金	6:30	朝ミサ			
20日	土	19:00	待降節第4主日のミサ		④	教会
21日	日	6:30&9:00	待降節第4主日　13:30～コミチウム 14:00～聖アルフォンソ合唱団クリスマスコンサート	④		
22日	月	6:30	朝ミサ			
23日	火	6:30	朝ミサ			
24日	水	19:00	クリスマス聖夜ミサ/ミサ中洗礼式 クリスマスイブ			
25日	木	祭日 10:00	主の降誕 日中クリスマスミサ/ミサ後茶話会			
26日	金	祝日 6:30	聖ステファノ殉教者 朝ミサ			
27日	土	祝日 19:00	聖ヨハネ使徒福音記者 聖家族のミサ		⑤･⑪	教会
28日	日	祝日 6:30&9:00	聖家族	⑤･⑪		
29日	月	6:30	朝ミサ			
30日	火	6:30	朝ミサ			
31日	水	19:00	召命ミサ			
1日	木	祭日 10:00	神の母聖マリア　＊世界平和の日 新年ミサ/　七草の祝福･ミサ後車の祝別			
2日	金	6:30	初金ミサ			

今月の行事当番班は８・９班です。

＊12月の役員会と司牧評議会はありません。

ロザリオの祈り	毎週火曜日　10:00～	2, 9, 16,23, 30日
レジオ･マリエ	毎週水曜日　13:30～	3, 10, 17日
聖書と教理ーⅡ	毎週金曜日　10:00～12:00	5,12,19,26日